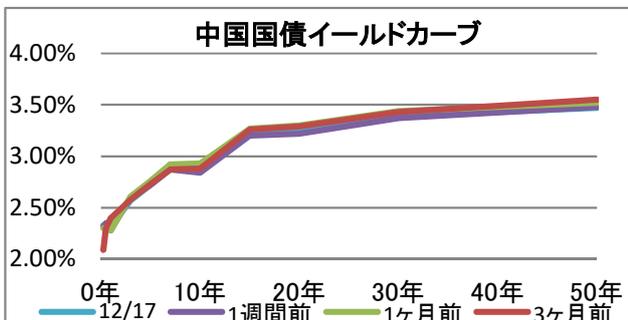
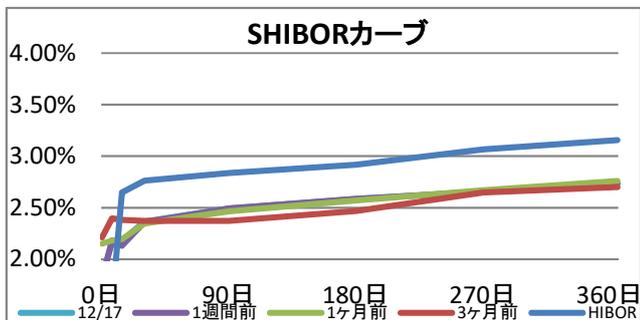


①市場概況

基準レート		2021/12/17	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3651	-0.0051
	JPY/CNY	5.5970	-0.0013
SHIBOR	3M	2.4920%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.85%	+0.01%
上海総合指数		3,632.36	-33.99



(1) 概況

国際金融市場では、オミクロン株の感染が拡大する中で米FRBはテーパリング加速、ECBはPEPPを予定通り終了し、BOEは利上げを、日本銀行もコロナ禍への特別対策の縮小を決め、市場への流動性追加供給が段階的に縮小されることとなったものの、市場は概ね冷静に受け止めている。株式市場は金融政策変更や経済活動正常化の遅れへの懸念から総じて下落し、債券市場では過度なインフレ懸念が後退する格好となり、為替市場は小動きとなっている。

中国金融市場では、景気停滞懸念が強まる中で懸念されていた米国による輸出・投資禁止対象企業の追加が現実となり、年末を控えてリスクオフの動きが強まった。株式市場は中央経済工作会議後は経済政策期待からしっかりの展開となっていたが、オミクロン株感染や不動産企業への懸念拡大等から下落している。これを受けて債券市場はしっかりと上がったものの、外為市場では当局の元高阻止姿勢を受けて膠着し、6.37を挟んだ小動きに終始。

中国では、国務院常務会で中小企業への金融支援方針を決め、中国人民銀行は易総裁が来年も合理的な流動性を保持する旨を改めて確認し、同行上海総部は住宅向け融資供給に対応する旨を表明している。国家外貨管理局は元高圧力の高まりからQDII投資枠の35億ドル拡大を決め、中国証券業務監督管理委員会は上海ロンドンストックコネクットのスイスとドイツへの拡大等に関する改正へのパブコメ募集を開始し、ドイツ銀行のファンド資産管理会社に開業を認可している模様。中国人民銀行は20日にLPR1年を3.80%に0.05%引き下げた(5年は4.65%で変わらず)。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元とMLF期日9,500億元に対し、リバースオペ500億元とMLF5,000億元の資金供給を実施し、4,500億元を吸収している。ただし、預金準備率引き下げ(12/15に0.5%引き下げ、市場への1.2兆元の資金還元効果)により年末越え資金が供給されている。

(3) 主な経済指標

- ・小売売上高(11月)は、前年比+3.9%(10月+4.9%)と、物品販売が小幅低下に止まる一方で、飲食が感染拡大の影響でマイナスに転じたことから伸びが低下している。
- ・鉱工業生産(11月)は、前年比+3.8%(10月+3.5%)と、低水準ながら2ヶ月連続での小幅改善。政策支援を受けるハイテク製造業が好調な一方、インフラ関連資材や半導体不足による自動車生産の悪化は続いている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8620%	1.8000%	1.6000%	
1W	2.1510%	4.0000%	2.1500%	
2W	2.1770%	2.2200%	2.4000%	
1M	2.3680%	4.0000%	2.9000%	2.7000%
3M	2.4920%	4.0000%	2.8000%	2.6000%
6M	2.5870%	4.1000%		2.6500%
9M	2.6560%			2.7050%
12M	2.7350%			2.7500%

中国人民銀行がMLF金利を維持したことから一部にあった利下げ期待は後退したものの、預金準備率引き下げによる年末越え資金の調達圧力は大幅に緩和されており市場は安定。ターム物は1ヶ月の2.7%前後での出合いを除き限定的。

NCDも、年末越え資金需給が徐々に改善しており、金融緩和への期待もあって長めの期間を中心に活発に取引されている。ターム物の金利水準は、1ヶ月は2.65%~2.70%、3ヶ月は2.55%~2.60%、6ヶ月が2.60%~2.65%、1年が2.70%~2.75%まで上昇している。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.45%	0.50%

年末要因や金融引き締め懸念、外貨預金準備率の引き上げ等から金利水準が高まる材料には事欠かないが、旺盛な海外からの投資資金の流入等を背景に需給は安定している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が0.10~0.15%、3ヶ月は0.30%前後、6ヶ月は0.40%前後で推移している。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.33%	2.34%	2.57%	2.67%	2.96%
6M	2.34%	2.36%	2.63%	2.70%	2.99%
1Y	2.32%	2.40%	2.69%	2.72%	3.02%
3Y	2.57%	2.76%	2.93%	3.01%	3.77%
5Y	2.72%	2.97%	3.25%	3.34%	4.21%
10Y	2.85%	3.25%	3.55%	3.68%	4.59%

債券市場では、景気停滞懸念を背景とした資金需給動向や年末のポジション調整中心の取引が続く中、先行き不透明感が強まり、小幅な値動きとなっている。不動産規制緩和効果もあって中長期の信用債には買戻しが入っている。

イーロードカーブは、利率債が膠着し、年末要因から総じて短期が弱含む（利回り上昇）一方、中長期の信用債に買戻しが入ったことから総じてフラットニングとなり、クレジットスプレッドは縮小している。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	26.8 / 26.8
1M	173.1 / 173.5
3M	455.0 / 456.0
6M	854.5 / 855.5
9M	1228.5 / 1230.0
12M	1596.0 / 1596.5

対ドル基準レートは6.3651と前週末比-51pipsのドル安元高、対円基準レートは5.5970と同-13pipsの円安元高と、前週末と概ね同水準。国内市場では、年末に向けた企業の外貨売りと国外投資家からの資金流入による元高圧力が高まる中、中国人民銀行の外貨預金準備比率引上げ発表効果や基準値の元安設定、11月の外貨購入が6年来の高水準となっていたことやQDII投資枠拡大を受け、市場では当局の元高懸念姿勢を感じ取って元高は一服している。

先物は、金利差縮小懸念は一段と強くなっているものの海外からの投資資金流入が続いており、スワップ幅は1年物が1600台を挟んだ狭いレンジでの取引となっている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.29%		2.10%
6M	2.27%	2.50%	2.11%
9M	2.28%	2.51%	2.11%
1Y	2.29%	2.54%	2.16%
3Y	2.45%	2.82%	2.33%
5Y	2.66%	3.08%	
7Y	2.79%	3.25%	
10Y	2.94%	3.41%	

スワップ金利は、利率債利回りの動きが限定的となる中、短期から長期まで概ね平行に小幅低下している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも小幅な縮小が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。